公務員2年制学科

2021年度入学生対象 公務員2年制学科履修系統図 1 年 前期 後期 前期 後 期 【公務員知識系科目】 公務員講座Ⅱ ② 公務員講座IV ③ 公務員講座 I ① 公務員講座Ⅲ ② 公務員講座ゼミ ② 社会科学 I ② 社会科学Ⅱ ② 社会科学演習Ⅱ (0.5) 社会科学演習 I (0.5) 人文科学 I ② 人文科学Ⅱ ② 人文科学演習 I (0.5) 人文科学演習Ⅱ (0.5) 自然科学 I ② 自然科学Ⅱ ② 自然科学演習 I (0.5) 自然科学演習Ⅱ (0.5) 判断推理 I ④ 判断推理Ⅱ ④ 判断推理演習Ⅱ ① 判断推理演習 I ① 数学・数的推理 I ④ 数学・数的推理Ⅱ ④ 数学・数的推理演習 I ① 数学・数的推理演習Ⅱ ① 資料解釈 I ② 資料解釈Ⅱ ② 資料解釈演習 I (0.5) 資料解釈演習Ⅱ (0.5) 【警察官・消防士系科目】 体力試験演習 I ① 体力試験演習Ⅱ ① 体力試験演習Ⅲ ① 【国家公務員・地方公務員系科目】 公務員試験対策 I ② 公務員試験対策Ⅱ ② 公務員試験対策Ⅲ ② 公務員試験対策演習 I (0.5) 公務員試験対策演習Ⅱ (0.5) 公務員試験対策演習Ⅲ (0.5) 【総合科目】 自己表現 I ② 自己表現Ⅱ ② 自己表現演習 I (0.5) 自己表現演習Ⅱ (0.5) 適性演習 I ① 適性演習Ⅱ ① 適性演習Ⅲ ① 模擬試験B ① 模擬試験A ① 面接対策A ① 面接対策 B ① 模擬試験ゼミA ① 模擬試験ゼミB ① 面接対策ゼミA ① 面接対策ゼミB ① 総合模試演習 I (0.5) 総合模試演習Ⅱ (0.5) 総合模試演習Ⅲ (0.5) 日商PC演習 ① MOS演習 ① 文書業務 ① パソコン演習 I ① パソコン演習Ⅱ ① まちづくり計画② 行政研究 I ④ 行政研究Ⅱ ④ 行政研究ゼミ I ① 行政研究ゼミⅡ ① 総合演習 I ③ 総合演習Ⅱ ③ インターンシップ (0.5)

注意:太線は必修科目 ○の数字は単位数

公務員2年制学科 実務経験のある教員による授業科目一覧

科目名	担当者名	単位数	時限数	実務経験と教育内容
資料解釈 I	坂井済	2	30	出版社の勤務経験と学習塾での本部運営 業務で得た印刷物作成に関する実務経験 をベースに資料の解釈方法について指導 する。
資料解釈演習 I	坂井済	0.5	15	出版社の勤務経験と学習塾での本部運営 業務で得た印刷物作成に関する実務経験 をベースに資料の解釈方法について指導 する。
行政研究 I	坂井済	4	60	出版社の勤務経験と学習塾での本部運営 業務で得た印刷物作成に関する実務経験 をベースにパソコンを使った印刷物などの 作成方法について指導する。
行政研究ゼミI	坂井済	1	30	出版社の勤務経験と学習塾での本部運営 業務で得た印刷物作成に関する実務経験 をベースにパソコンを使った印刷物などの 作成方法について指導する。
総合演習I	藤谷江理子	3	90	登別市と連携し、まちづくり等のテーマでグループディスカッションを行い発表資料の作成と発表を行い、登別市職員の立場で評価してもらう。
インターンシップ	仙名伸行	0.5	15	企業や役所での現場の仕事を実際に体験 し、レポートにまとめる。インターンシップ先 からの評価を得る。
	合計	11	240	

教 科 目 名	公務員講座 I	担当教師名		冨永史人	
教科目	名	Lectures	about Official	s I	
学科・学年・	•期	公務員2年制学科・1学年・前	方期 必選・単	位数	必修・1 単位

映像教材などを用いながら、公務員の職種や仕事の概要、心得などを学習し、合格後、 自らが取り組まなければならない仕事内容などについて公務員という職業の理解をする。 また、現職の公務員に来校していただきの仕事の実際や経験談などを語ってもらい公務 員の心構えを整理し職業倫理観を養うことを目標とする。

[履修に必要なこと]

受講者はテレビや新聞のニュースに注意し、さまざまな社会問題に関心を持って講座に 臨むこと。

[成績評価方法]

レポート提出、積極性など、平常点も加味して評価する。

[教科書]

特になし。

[参考書]

必要に応じ新聞記事などの資料を配付する。

回	項目	内容
第 1 回	公務員とは	公務員の性格と種類の概要
第 2 回	国家公務員	国家公務員のいろいろ
第 3 回	11	国家公務員の仕事
第 4 回	11	国家公務員の試験と採用システム
第 5 回	地方公務員	地方公務員のいろいろ
第 6 回	JJ.	地方公務員の仕事
第 7 回	II .	地方公務員の試験と採用システム
第 8 回	公安系公務員	公安系公務員のいろいろ
第 9 回	<i>II</i>	公安系公務員の仕事
第10回	II .	公安系公務員の試験と採用システム
第11回	特別職公務員	特別職公務員の仕事と採用システム
第12回	準公務員	準公務員のいろいろ
第13回	11	準公務員の仕事と採用システム
第14回	求められるもの	資質と素養、心構え
第15回	JJ	仕事の展望と可能性

±4.6-	教 科 目 名	公務員講座Ⅱ	担当教師名	冨永史人
教	科目名	Lectures	about Officials	s II
学科	・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	後期 必選・単	位数 選択・2 単位

教養学習と公務員の採用システムを理解する。また特に実社会に出るに際して理解し身につけておくべきさまざまな心得や慣習などから、規則、ルール、法律などに至るまで、 多方面から学習し公務員になるための心構えを理解する。

また、時として公務員、民間企業に関わらず、OBなどの参加も仰ぎ、仕事の実際や経験談などを語ってもらう予定である。

[履修に必要なこと]

受講者はテレビや新聞のニュースに注意し、さまざまな社会問題に関心を持って講座に 臨むこと。

[成績評価方法]

レポート提出、積極性など、平常点も加味して評価する。

[教科書]

必要に応じてプリントで配布。

「参考書]

[1文未可四]		
回	項目	内容
第 1 回	公的な仕事の心得	仕事の内容
第 2 回	JJ	II .
第 3 回	II .	ll .
第 4 回	JJ	II .
第 5 回	ll ll	II .
第 6 回	JJ	II .
第 7 回	民間の仕事の心得	仕事の内容
第 8 回	IJ	II .
第 9 回	II .	II .
第10回	II .	ll .
第11回	II .	II .
第12回	インターネット時代の心得	仕事の内容
第13回	IJ	II .
第14回	JJ	II .
第15回	JJ	ll .

** ** ** **	公務員講座Ⅲ	担当教師名	冨永史人
教科目名	Lectures a	about Officials	III
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	前期 必選・単	位数 選択・3単位

公務員の教養学習の集大成を行う。映像教材などを用いながら、公務員の職種や仕事の概要、心得などを学習し、合格後、自らが取り組まなければならない仕事内容などについて公務員という職業の理解を深める。

また、現職の公務員に来校していただきの仕事の実際や経験談などを語ってもらい公務員の心構えを理解し職業倫理観を養うことを目標とする。

[履修に必要なこと]

受講者はテレビや新聞のニュースに注意し、さまざまな社会問題に関心を持って講座に 臨むこと。

[成績評価方法]

レポート提出、積極性など、平常点も加味して評価する。

[教科書]

必要に応じてプリントで配布。

「参考書]

口	項目	内容
第 1 回	国家公務員のさまざま	仕事の内容
第 2 回	<i>II</i>	ll .
第 3 回	II	ll .
第 4 回	II	ll .
第 5 回	JJ	ll .
第 6 回	II	ll .
第 7 回	都道府県の仕事	仕事の内容
第 8 回	"	II .
第 9 回	<i>II</i>	II .
第10回	JJ	ll .
第11回	JJ	ll .
第12回	市町村の仕事	仕事の内容
第13回	II.	II .
第14回	<i>II</i>	II .
第15回	JJ	II

## 1 D D	公務員講座Ⅳ	担当教師名	冨永史人
教科目名	Lectures a	about Officials	IV
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・後	後期 必選・単	位数 選択・2 単位

公務員の教養学習の集大成を行う。特に実社会に出るに際して公務員の業務を理解し身につけておくべきさまざまな心得や慣習などから、規則、ルール、法律などに至るまで、 多方面から学習し公務員の心構えを確立する。

また、時として公務員、民間企業に関わらず、OBなどの参加も仰ぎ、仕事の実際や経験談などを語ってもらう予定である。

[履修に必要なこと]

受講者はテレビや新聞のニュースに注意し、さまざまな社会問題に関心を持って講座に 臨むこと。

[成績評価方法]

レポート提出、積極性など、平常点も加味して評価する。

[教科書]

必要に応じてプリントで配布。

「参考書]

回	項目	内容
第 1 回	公的な仕事の心得	仕事の内容
第 2 回	IJ	II .
第 3 回	IJ	II
第 4 回	JJ	II .
第 5 回	JJ	II .
第 6 回	IJ	JI .
第 7 回	民間の仕事の心得	仕事の内容
第 8 回	JJ	II .
第 9 回	IJ	JI .
第10回	IJ	JI .
第11回	IJ	II
第12回	インターネット時代の心得	仕事の内容
第13回	JJ	II .
第14回	JJ	II
第15回	11	ıı .

#L 1\\ \D \D	公務員講座ゼミ	担当教師名	冨永史人
教科目名	Officia	als Seminar	
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	期 必選・単	位数 選択・2 単位

映像教材などを用いながら、公務員という職業を学習するのが授業の主目的である。また現場見学なども授業に積極的に取り入れていきたい。また、その時々の公務員の仕事に関わる報道なども重要な素材とし問題点などを議論する。

また、時としてボランティア参加などをし、相互支援や市民活動を通して人助けやまちづくりの意識を醸成することを目標とする。

「履修に必要なこと]

受講者はテレビや新聞のニュースに注意し、さまざまな社会問題に関心を持って講座に 臨むこと。

[成績評価方法]

レポート提出、積極性など、平常点も加味して評価する。

[教科書]

特になし。

「参考書]

必要に応じ新聞記事などの資料を配付する。

口	項目	内容
第 1 回	公務員とは	公務員の性格と種類の概要
第 2 回	国家公務員	国家公務員のいろいろ
第 3 回	11	国家公務員の仕事
第 4 回	II .	国家公務員の試験と採用システム
第 5 回	地方公務員	地方公務員のいろいろ
第 6 回	11	地方公務員の仕事
第 7 回	II .	地方公務員の試験と採用システム
第 8 回	公安系公務員	公安系公務員のいろいろ
第 9 回	JJ.	公安系公務員の仕事
第10回	JJ.	公安系公務員の試験と採用システム
第11回	特別職公務員	特別職公務員の仕事と採用システム
第12回	準公務員	準公務員のいろいろ
第13回	11	準公務員の仕事と採用システム
第14回	求められるもの	資質と素養、心構え
第15回	11	仕事の展望と可能性

#/. 1\ D D	社会科学 I	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Socia	al Sciences I	
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・	前期 必選・単	位数 選択・2 単位

社会科学の主要分野である政治・経済、倫理に関わる分野を学習する。単に暗記をするだけの授業ではなく、1次試験を突破することができ、理解し使いこなせる知識の習得を目指す。また、日本国憲法や様々な法律を扱うため、公務員に必要な法律力を身につけてもらいたい。

「履修に必要なこと]

学ぶことがとても多いので、復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 社会科学」(TAC刊)

「参考書]

なし

口	項目	内容
第 1 回	民主政治の基本原理	基本的人権・権力分立・各国の政治制度
第 2 回	日本国憲法の原則	三代原則・基本的人権・新しい人権
第 3 回	国会	二院制・衆議院の優越・両院道東の権限
第 4 回	内閣・裁判所	内閣・裁判所・違憲立法審査権
第 5 回	地方自治	地方自治の本旨・自治機関
第 6 回	政党政治と選挙	政党制・選挙制度
第 7 回	国際社会と国際政治	国際法・国際平和機関・戦後国際政治
第 8 回	経済の発達	資本主義の発達・経済学の発達
第 9 回	現代の市場と企業	需要と供給・現代の市場・企業の種類
第10回	経済の変動	国民所得と経済成長・日本経済の発展
第11回	金融と財政の役割	金融・財政・金融政策・財政政策
第12回	国際経済	貿易・国際経済の動向・地域的経済統合
第13回	労働関係の課題	労働基本権・労働三法
第14回	国民の福祉	各種社会保障制度
第15回	期末試験	

*** 1) 0 5	社会科学Ⅱ	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Social Sciences II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・	前期 必選・	単位数 選択・2 単位

社会科学の主要分野である政治・経済、倫理に関わる総復習をする。単に暗記をするだけの授業ではなく、1次試験を突破することができ、理解し使いこなせる知識の習得を目指す。また、日本国憲法や様々な法律を扱うため、公務員に必要な法律力を身につけてもらいたい。

「履修に必要なこと]

学ぶことがとても多いので、復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 社会科学」(TAC刊)

「参考書]

なし

口	項目	内容	
第 1 回	行政学	地方自治	
第 2 回	II .	地方自治への住民参画	
第 3 回	政治学	各国の政治体制	
第 4 回	JJ	日本の政治	
第 5 回	国民所得と景気変動	GNP、NNP、NI、GDP、国富	
第 6 回	JI	景気の変動と日本の景気	
第 7 回	国際経済	ブレトンウッズ体制、プラザ合意	
第 8 回	JI	EUの歩み	
第 9 回	日本の経済	戦後の復興期	
第10回	JJ	日米貿易摩擦	
第11回	現代社会の特質	大衆社会、官僚制	
第12回	II .	環境問題	
第13回	II .	国際協力	
第14回	青年期の心理	欲求と防衛機制	
第15回	期末試験		

** 1) = 5	社会科学演習 I	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Social Sciences Exercise I		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・	前期 必選・単	位数 選択・0.5 単位

社会科学の主要分野である政治・経済、倫理に関わる分野の問題演習をおこなう。1次 試験を突破するために、公務員試験特有の5択による選択式の問題を解答するコツを伝授 する。自ら演習を重ね、自己研鑽能力を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

自ら演習問題に取り組み、根拠に基づいて解答することを意識すること。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 社会科学」(TAC刊)

[参考書]

なし

门又来时四」		
口	項目	内容
第 1 回	民主政治の基本原理	問題演習・解説
第 2 回	日本国憲法の原則	問題演習・解説
第 3 回	国会	問題演習・解説
第 4 回	内閣・裁判所	問題演習・解説
第 5 回	地方自治	問題演習・解説
第 6 回	政党政治と選挙	問題演習・解説
第 7 回	国際社会と国際政治	問題演習・解説
第 8 回	経済の発達	問題演習・解説
第 9 回	現代の市場と企業	問題演習・解説
第10回	経済の変動	問題演習・解説
第11回	金融と財政の役割	問題演習・解説
第12回	国際経済	問題演習・解説
第13回	労働関係の課題	問題演習・解説
第14回	国民の福祉	問題演習・解説
第15回	期末試験	

## 1 D D	社会科学演習Ⅱ	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Social Sciences Exercise II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	7期 必選・単	位数 選択・0.5 単位

政治・経済、倫理の他に時事問題や環境に関わる分野の問題演習をおこなう。1次試験を突破するために、公務員試験特有の5択による選択式の問題を解答するコツを伝授する。 自ら演習を重ね、自己研鑽能力を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

自ら演習問題に取り組み、根拠に基づいて解答することを意識すること。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 社会科学」(TAC刊)

[参考書]

なし

门又来时四」		
口	項目	内容
第 1 回	行政学	問題演習・解説
第 2 回	IJ	問題演習・解説
第 3 回	政治学	問題演習・解説
第 4 回	IJ	問題演習・解説
第 5 回	国民所得と景気変動	問題演習・解説
第 6 回	IJ	問題演習・解説
第 7 回	国際経済	問題演習・解説
第 8 回	IJ	問題演習・解説
第 9 回	日本の経済	問題演習・解説
第10回	IJ	問題演習・解説
第11回	現代社会の特質	問題演習・解説
第12回	IJ	問題演習・解説
第13回	IJ	問題演習・解説
第14回	青年期の心理	問題演習・解説
第15回	期末試験	

*** 1) 0 5	人文科学 I	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Ни	manities I	
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・	前期 必選・単	位数 選択・2 単位

人文科学の主要分野である地理、日本史、世界史に関わる分野を学習する。単に暗記をするだけの授業ではなく、1次試験を突破することができ、理解し使いこなせる知識の習得を目指す。また、思想や市民運動を扱うため、社会人に必要な人としての考え方を身につけてもらいたい。

「履修に必要なこと]

学ぶことがとても多いので、復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 人文科学」(TAC刊)

「参考書]

なし

口	項目	内容
第 1 回	日本史	原始、古代
第 2 回	JJ	中世
第 3 回	11	近世
第 4 回	JJ	近代・現代
第 5 回	JJ	日本の文学・芸術・哲学
第 6 回	世界史	古代文明の成立
第 7 回	11	ヨーロッパ世界の成立
第 8 回	"	市民社会の成長
第 9 回	11	二つの世界大戦
第10回	11	世界の文学・芸術・哲学
第11回	地理	地形
第12回	JJ	気候
第13回	11	農業
第14回	JJ	エネルギー資源・鉱工業
第15回	期末試験	

*** 1) 🗆 5	人文科学Ⅱ	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Humanities II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	↑期 必選・単	位数 選択・2 単位

人文科学の主要分野である地理、日本史、世界史に関わる総復習をする。単に暗記をするだけの授業ではなく、1次試験を突破することができ、理解し使いこなせる知識の習得を目指す。また、思想や市民運動を扱うため、社会人に必要な人としての考え方を身につけてもらいたい。

「履修に必要なこと]

学ぶことがとても多いので、復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 人文科学」(TAC刊)

「参考書]

なし

項目	内容	
日本史	原始、古代	
II .	中世	
IJ	近世	
IJ	近代・現代	
II .	日本の文学・芸術・哲学	
世界史	古代文明の成立	
JJ	ヨーロッパ世界の成立	
II .	近代ヨーロッパ	
II .	二つの世界大戦	
JJ	世界の文学・芸術・哲学	
地理	地形	
JJ	気候	
IJ	農業	
IJ	エネルギー資源・鉱工業	
胡末試験		
1	日本史 "" "" "" "" "" "" "" "" "" "" "" "" "	

** 1 0 5	人文科学演習 I	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Humanit	ies Exercise I	
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	が期 必選・	単位数 選択・0.5 単位

人文科学の主要分野である地理、日本史、世界史に関わる分野の問題演習をおこなう。 1次試験を突破するために、公務員試験特有の5択による選択式の問題を解答するコツを 伝授する。自ら演習を重ね、自己研鑽能力を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

自ら演習問題に取り組み、根拠に基づいて解答することを意識すること。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 人文科学」(TAC刊)

[参考書]

なし

口	項	目	内	容
第 1 回	日本史		問題演習・解説	
第 2 回	<i>II</i>		問題演習・解説	
第 3 回	IJ		問題演習·解説	
第 4 回	IJ		問題演習·解説	
第 5 回	IJ		問題演習·解説	
第 6 回	世界史		問題演習·解説	
第 7 回	IJ		問題演習·解説	
第 8 回	IJ		問題演習·解説	
第 9 回	JJ		問題演習・解説	
第10回	IJ		問題演習·解説	
第11回	地理		問題演習·解説	
第12回	IJ		問題演習·解説	
第13回	IJ		問題演習·解説	
第14回	IJ		問題演習·解説	
第15回	期末試験			<u> </u>

*** *** *** ***	人文科学演習Ⅱ	担当教師名	仙名伸行	
教科目名	Humanities Exercise II			
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	ブ期 必選・単	位数 選択・0.5 単位	

政治・経済、倫理の他に時事問題や環境に関わる分野の問題演習をおこなう。1次試験を突破するために、公務員試験特有の5択による選択式の問題を解答するコツを伝授する。 自ら演習を重ね、自己研鑽能力を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

自ら演習問題に取り組み、根拠に基づいて解答することを意識すること。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 人文科学」(TAC刊)

[参考書]

なし

门又来时凹」		
口	項目	内容
第 1 回	日本史	問題演習・解説
第 2 回	IJ	問題演習・解説
第 3 回	JJ	問題演習·解説
第 4 回	IJ.	問題演習・解説
第 5 回	IJ	問題演習・解説
第 6 回	世界史	問題演習・解説
第 7 回	JJ	問題演習・解説
第 8 回	JJ	問題演習·解説
第 9 回	IJ	問題演習・解説
第10回	IJ	問題演習・解説
第11回	地理	問題演習・解説
第12回	IJ	問題演習・解説
第13回	JJ	問題演習・解説
第14回	IJ	問題演習・解説
第15回	期末試験	

** 1) 0 5	自然科学 I	担当教師名	福岡修司
教科目名	Natural Sciences I		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	7期 必選・単	位数 選択・2単位

1次試験突破のために最頻出事項に絞って授業を行う。9月までの短期間での習得のためには学生各人の努力が欠かせないが、単に知識の習得に終始せず、論理的思考力を身につけ、受け答えの訓練をする意味合いもあるので、能動的な授業への参加を求める。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を 進めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 自然科学」(TAC刊)

[参考書]

□	物理	化学	生物	地学
第1回	力のはたらき	 物質の構造	細胞	地球の大気と海洋
第2回	<i>II</i>		II	"
第3回	力とエネルギー	気体の法則	 生殖と発生	地球の構造
第4回	"	II	"	"
第 5 回	熱と温度	溶液の性質 と化学反応	遺伝と生物の進化	火成岩と堆積岩
第 6 回	熱と気体	II .	"	"
第 7 回	波動	酸・塩基・塩	物質代謝とエネルギー代謝	変成岩と造山運動
第 8 回	II .	JJ	11	II .
第 9 回	II.	酸化と還元	生体調節とホルモン	地球の歴史
第10回	電気	11	II .	II .
第11回	II.	無機物質	人体の構造	地球と太陽系
第12回	II.	<i>II</i>		II .
第13回	II.	有機化合物	生態系と生物集団	恒星
第14回	電流と磁界	11		II .
第15回	期末試験			

*** 1 1 2 2	自然科学Ⅱ	担当教師名	福岡修司
教科目名	Natura	al Sciences II	
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	期 必選・単	位数 選択・2単位

自然科学 I で最重点事項に絞った分、1 次試験合格に向けて幅広く体系的な知識の習得を主眼とする。前年同様単に知識の習得に終始せず、論理的思考力を身につけ、受け答えの訓練をする意味合いもあるので、能動的な授業への参加を求める。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を 進めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 自然科学」(TAC刊)

「参考書]

П	物理	化 学	生物	地 学
第 1 回	力のはたらき	物質の構造	細胞	地球の大気と海洋
第 2 回	JJ	<i>II</i>	II .	JJ
第 3 回	力とエネルギー	気体の法則	生殖と発生	地球の構造
第 4 回	"	<i>II</i>	11	II .
第 5 回	熱と温度	溶液の性質 と化学反応	遺伝と生物の進化	火成岩と堆積岩
第 6 回	熱と気体	<i>II</i>	II .	"
第 7 回	波動	酸·塩基·塩	物質代謝とエネルギー 代謝	変成岩と造山運動
第 8 回	II .	<i>II</i>	11	"
第 9 回	電気	酸化と還元	生体調節とホルモン	地球の歴史
第10回	"	<i>II</i>	11	II .
第11回	"	無機物質	人体の構造	地球と太陽系
第12回	電流と磁界	<i>II</i>		II .
第13回	原子物理	有機化合物	生態系と生物集団	恒星
第14回	11	<i>II</i>		IJ
第15回	期末試験			

*** 1 1 2 2	自然科学演習 I	担当教師名	福岡修司
教科目名	Exercises in	Natural Scien	ices I
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	前 必選・単	位数 選択・0.5 単位

自然科学 I の授業内容を踏まえ過去問を中心に問題演習により合格力を養う。適宜グループでの学習を行ない、グループワークや集団討論の予行演習としたい。また、学生同士が教え・教えられの双方向のアクティブラーニングを行ない、人のために動ける公務員としての資質を涵養する。

「履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を 進めること。

[成績評価方法]

発表・期末試験により評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 自然科学」(TAC刊)

[参考書]

なし

物理	化 学	生	物	地 学
これまでの模試・	過去問などを中心	いに演習		
11				
11				
IJ				
11				
IJ				
IJ				
11				
IJ				
"				
IJ				
II .				
IJ				
II .		·	·	
期末試験				
	これまでの模試・ "" "" "" "" "" "" "" "" "" "" "" "" ""	これまでの模試・過去問などを中心 """"""""""""""""""""""""""""""""""""	これまでの模試・過去問などを中心に演習 // // // // // // // // // // // // /	これまでの模試・過去問などを中心に演習 // // // // // // // // // // // // /

** ** □ **	自然科学演習Ⅱ	担当教師名	福岡修司	
教科目名	Exercises in Natural Sciences II			
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	前 必選・単	位数 選択・0.5 単位	

自然科学Ⅱの授業内容を踏まえ過去問を中心に問題演習により合格力を養う。適宜グループでの学習を行ない、グループワークや集団討論の予行演習としたい。また、学生同士が教え・教えられの双方向のアクティブラーニングを行ない、人のために動ける公務員としての資質を涵養する。

「履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を 進めること。

[成績評価方法]

発表・期末試験により評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 自然科学」(TAC刊)

[参考書]

「以来可酉」	
口	内容
第 1 回	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	ll ll
第 3 回	ll ll
第 4 回	ll ll
第 5 回	ll ll
第 6 回	ll ll
第 7 回	ll ll
第 8 回	ll ll
第 9 回	II .
第10回	II .
第11回	II .
第12回	II .
第13回	ll ll
第14回	II .
第15回	期末試験

教科目名		判断推理 I	担当教師名		冨永史人
		Logical Inferences I			
学科•	学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	方期 必選・単	位数	必修・4 単位

公務員試験初級レベルにおける判断推理系の問題に焦点を当てて、問題解法のために 様々な問題パターンを学習し1次試験突破の基礎作りをする。また、論理的思考回路を養 い公務員としての資質を持った人材育成を目的とする。

[履修に必要なこと]

講義は、テキストに沿って解説を行うので、講義ノートを作成すること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈」(TAC刊)

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	判断推理	集合に関する問題
第 2 回	判断推理	命題と論理
第 3 回	判断推理	試合と勝敗
第 4 回	判断推理	文章問題(図表を用いる問題)
第 5 回	判断推理	文章問題 (ウソに関する問題)
第 6 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 7 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 8 回	判断推理	順序に関する問題
第 9 回	空間把握	立体の構成・切断
第10回	空間把握	折り紙とサイコロ
第11回	空間把握	展開図と軌跡
第12回	空間把握	展開図と軌跡
第13回	空間把握	平面図形と立体図形
第14回	空間把握	投影図と回転体
第15回	期末試験	試験

** 10 0 0	判断推理Ⅱ	担当教師名	冨永史人
教科目名	Logical	Inferences II	
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	前 必選・単	位数 選択・4 単位

判断推理 I での基本的なことがらを踏まえ、判断推理および空間把握の各種問題を解き、解法力を養うものとする。様々な問題パターンを学習し1次試験突破の仕上げをする。また、論理的思考回路を養い公務員としての資質を持った人材育成を目的とする。

「履修に必要なこと]

講義は、テキストに沿って解説を行うので、講義ノートを作成すること。

[成績評価方法]

成績は、レポート・期末試験の結果で評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈」(TAC刊)

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	判断推理	集合に関する問題
第 2 回	判断推理	命題と理論
第 3 回	判断推理	トーナメントとリーグ戦
第 4 回	判断推理	文章問題(図表を用いる問題)
第 5 回	判断推理	文章問題(ウソに関する問題)
第 6 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 7 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 8 回	判断推理	順序に関する問題
第 9 回	空間把握	立体の構成・切断
第10回	空間把握	折り紙とサイコロ
第11回	空間把握	展開図と軌跡
第12回	空間把握	展開図と軌跡
第13回	空間把握	平面図形と立体図形
第14回	空間把握	投影図と回転体
第15回	期末試験	試験

*** *** *** ***	判断推理演習 I	担当教師名	冨永史人
教科目名	Exercises in	Logical Infere	nces I
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	7期 必選・単	位数 必修・1 単位

公務員試験における判断推理系の問題に焦点を当てて、問題解法のために様々な問題パターンの解答方法を演習し1次試験突破の応用力を身につける。また、論理的思考回路を養い公務員としての資質を持った人材育成を目的とする。

[履修に必要なこと]

講義は、テキストに沿って解説を行うので、講義ノートを作成すること。

[成績評価方法]

成績は、レポート・期末試験の結果で評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈」(TAC刊)

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	判断推理	集合に関する問題
第 2 回	判断推理	命題と論理
第 3 回	判断推理	試合と勝敗
第 4 回	判断推理	文章問題(図表を用いる問題)
第 5 回	判断推理	文章問題(ウソに関する問題)
第 6 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 7 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 8 回	判断推理	順序に関する問題
第 9 回	空間把握	立体の構成・切断
第10回	空間把握	折り紙とサイコロ
第11回	空間把握	展開図と軌跡
第12回	空間把握	展開図と軌跡
第13回	空間把握	平面図形と立体図形
第14回	空間把握	投影図と回転体
第15回	期末試験	試験

## 1 D D	判断推理演習Ⅱ	担当教師名	冨永史人
教科目名	Exercises in Logical Inferences II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	期 必選・単	位数 選択・1 単位

公務員試験における判断推理系の問題に焦点を当てて、解法力の養成と解答速度を養い 1次試験突破の仕上げをする。また、論理的思考回路を養い公務員としての資質を持った 人材育成を目的とする。

[履修に必要なこと]

講義は、テキストに沿って解説を行うので、講義ノートを作成すること。

[成績評価方法]

成績は、レポート・期末試験の結果で評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈」(TAC刊)

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	判断推理	集合に関する問題
第 2 回	判断推理	命題と理論
第 3 回	判断推理	トーナメントとリーグ戦
第 4 回	判断推理	文章問題(図表を用いる問題)
第 5 回	判断推理	文章問題 (ウソに関する問題)
第 6 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 7 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 8 回	判断推理	順序に関する問題
第 9 回	空間把握	立体の構成・切断
第10回	空間把握	折り紙とサイコロ
第11回	空間把握	展開図と軌跡
第12回	空間把握	展開図と軌跡
第13回	空間把握	平面図形と立体図形
第14回	空間把握	投影図と回転体
第15回	期末試験	試験

	数学・数的推理 I	担当教師名	坂井済
教科目名	Mathematical Inferences I		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	7期 必選・単	位数 必修・4単位

1次試験突破のために最頻出事項に絞って授業を行う。9月までの短期間での習得のためには学生各人の努力が欠かせないが、単に知識の習得に終始せず、論理的思考力を身につけ、受け答えの訓練をする意味合いもあるので、能動的な授業への参加を求める。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を 進めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 数学・数的推理」(TAC刊)

「参考書]

なし

口	項目	内容
第 1 回	方程式	四則応用、方程式
第 2 回	方程式	不等式、2次方程式
第 3 回	速さ	速さ、旅人算、通過算
第 4 回	速さ	流水算、時計算
第 5 回	確率	場合の数、順列
第 6 回	確率	組合せ、確率
第 7 回	数的推理	総合演習
第 8 回	中間試験	
第 9 回	整数	整数・約数・倍数・剰余、約束記号、記数法
第10回	割合	比、混合算、売買算、増減
第11回	割合	仕事算、ニュートン算、最大・最小
第12回	計算パズル、規則性	計算パズル、数列、規則性の発見
第13回	整数	整数・約数・倍数・剰余、約束記号、記数法
第14回	数的推理	総合演習
第15回	期末試験	

#L 1\\ \D \D	数学・数的推理Ⅱ	担当教師名	福岡修司
教科目名	Mathematical Inferences II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	期 必選・単	位数 選択・4 単位

数学・数的推理 I で最重点事項に絞った分、1次試験合格に向けて幅広く体系的な知識の習得を主眼とする。前年同様単に知識の習得に終始せず、論理的思考力を身につけ、受け答えの訓練をする意味合いもあるので、能動的な授業への参加を求める。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を 進めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 数学・数的推理」(TAC刊)

「参考書]

なし

口	項目	内容
第 1 回	方程式	四則応用、方程式
第 2 回	方程式	不等式、2次方程式
第 3 回	速さ	速さ、旅人算、通過算
第 4 回	速さ	流水算、時計算
第 5 回	確率	場合の数、順列
第 6 回	確率	組合せ、確率
第 7 回	数的推理	総合演習
第 8 回	中間テスト	
第 9 回	整数	整数・約数・倍数・剰余、約束記号、記数法
第10回	割合	比、混合算、売買算、増減
第11回	割合	仕事算、ニュートン算、最大・最小
第12回	計算パズル、規則性	計算パズル、数列、規則性の発見
第13回	整数	整数・約数・倍数・剰余、約束記号、記数法
第14回	数的推理	総合演習
第15回	期末試験	

#4 1V D B	数学・数的推理演習 I	担当教師名	坂井済
教科目名	Exercises in Mathematical Inferences I		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	i期 必選・単	位数 必修・1 単位

数学・数的推理 I の授業内容を踏まえ過去問を中心に問題演習により合格力を養う。適宜グループでの学習を行ない、グループワークや集団討論の予行演習としたい。また、学生同士が教え・教えられの双方向のアクティブラーニングを行ない、人のために動ける公務員としての資質を涵養する。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を 進めること。

[成績評価方法]

発表・定期試験により評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 数学・数的推理」(TAC刊)

「参考書]

なし

□	内容
第 1 回	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	II .
第 3 回	II .
第 4 回	II .
第 5 回	II .
第 6 回	II .
第 7 回	II .
第 8 回	II .
第 9 回	II .
第10回	II .
第11回	II .
第12回	II .
第13回	II .
第14回	II .
第15回	期末試験

# 1 日 月	数学・数的推理演習 I I	担当教師名	坂井済	
教科目名	Exercises in Mathematical Inferences II			
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	期 必選・単	位数 選択・1 単位	

数学・数的推理Ⅱの授業内容を踏まえ過去問を中心に問題演習により合格力を養う。適 宜グループでの学習を行ない、グループワークや集団討論の予行演習としたい。また、学 生同士が教え・教えられの双方向のアクティブラーニングを行ない、人のために動ける公 務員としての資質を涵養する。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を 進めること。

「成績評価方法]

発表・定期試験により評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 数学・数的推理」(TAC刊)

「参考書]

なし

□	内容
第 1 回	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	ll
第 3 回	II .
第 4 回	II .
第 5 回	II .
第 6 回	JJ
第 7 回	II .
第 8 回	II .
第 9 回	II .
第10回	II .
第11回	JI
第12回	II .
第13回	II .
第14回	II .
第15回	期末試験

*** 1) 0 5	資料解釈I	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Handl	ing Data I	
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	期 必選・単	単位数 必修・2単位

資料解釈では、1次試験突破に必要な構成比、増減率、指数、特殊なグラフといった分野を学習する。表やグラフを読みとり論理的に思考する能力を反復してトレーニングする。 短時間で効率的に解答するスキルの定着を目指す。

[履修に必要なこと]

学ぶことがとても多いので、復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈」(TAC刊)

[参考書]

なし

[授耒計画]		
口	項目	内容
第 1 回	資料解釈の基礎	割合計算①
第 2 回	II	割合計算②
第 3 回	構成比	構成比計算公式
第 4 回	n,	構成比計算公式をつかった例題
第 5 回	JI	構成比計算実践
第 6 回	JJ	表グラフの特性
第 7 回	増減率	増加率の考え方
第 8 回	IJ	増加率の計算
第 9 回	"	減少率の計算
第10回	"	増減混合の計算
第11回	指数	指数計算公式
第12回	"	省略算
第13回	JJ	指数計算実践
第14回	特殊なグラフ	産業別人口構成図の見方
第15回	期末試験	

** 1) = 5	資料解釈Ⅱ	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Handl	ing Data II	
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前期	期 必選・単位	位数 選択・2 単位

資料解釈の主要分野である構成比、増減率、指数、特殊なグラフに関わる総復習をする。 単に暗記をするだけの授業ではなく、1次試験を突破することができ、理解し使いこなせ る知識の習得を目指す。また、表やグラフを読みとり論理的に思考する能力を反復してト レーニングする。短時間で効率的に解答するスキルの定着を目指す。

「履修に必要なこと]

学ぶことがとても多いので、復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈」(TAC刊)

「参考書]

なし

D
2)
3)
1)
5)
3)
7)
3)
9)
0
1)
2
3
4)

*** 1 1 2 2	資料解釈演習 I	担当教師名		仙名伸行
教科目名	Exercises i	n Handling Da	ata I	
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・	前期 必選・	単位数	必修・0.5 単位

資料解釈の主要分野である構成比、増減率、指数、特殊なグラフに関わる分野の問題演習をおこなう。1次試験を突破するために、公務員試験特有の5択による選択式の問題を解答するコツを伝授する。自ら演習を重ね、自己研鑽能力を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

自ら演習問題に取り組み、根拠に基づいて解答することを意識すること。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈」(TAC刊)

[参考書]

なし

门又来时凹」		
口	項目	内容
第 1 回	資料解釈の基礎	問題演習・解説
第 2 回	JJ	問題演習・解説
第 3 回	構成比	問題演習・解説
第 4 回	IJ	問題演習・解説
第 5 回	IJ	問題演習・解説
第 6 回	JJ	問題演習・解説
第 7 回	増減率	問題演習・解説
第 8 回	JJ	問題演習・解説
第 9 回	JJ	問題演習・解説
第10回	IJ	問題演習・解説
第11回	指数	問題演習・解説
第12回	IJ	問題演習・解説
第13回	IJ	問題演習・解説
第14回	特殊なグラフ	問題演習・解説
第15回	期末試験	

*** 1 0 5	資料解釈演習Ⅱ	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Exercises in	n Handling Da	ta II
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	前期 必選・単	位数 選択・0.5 単位

構成比、増減率、指数、特殊なグラフに関わる分野の問題演習をおこなう。 1 次試験を突破するために、公務員試験特有の 5 択による選択式の問題を解答するコツを伝授する。自ら演習を重ね、自己研鑽能力を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

自ら演習問題に取り組み、根拠に基づいて解答することを意識すること。

[成績評価方法]

期末試験、小テストにおいて評価する。

[教科書]

「公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈」(TAC刊)

[参考書]

なし

[1文未引四]				
口	項	Ш	内	容
第 1 回	資料解釈		問題演習·解説	
第 2 回	資料解釈		問題演習·解説	
第 3 回	資料解釈		問題演習·解説	
第 4 回	資料解釈		問題演習・解説	
第 5 回	資料解釈		問題演習・解説	
第 6 回	資料解釈		問題演習·解説	
第 7 回	資料解釈		問題演習・解説	
第 8 回	資料解釈		問題演習・解説	
第 9 回	資料解釈		問題演習·解説	
第10回	資料解釈		問題演習·解説	
第11回	資料解釈		問題演習·解説	
第12回	資料解釈		問題演習・解説	
第13回	資料解釈		問題演習·解説	
第14回	資料解釈		問題演習・解説	
第15回	期末試験	·		

*** 1)	体力試験演習 I	担当教師名		三谷直人
教科目名	Exercises in Ph	ysical Strengt	h Test	t I
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	前 必選・単	位数	選択・1 単位

主として警察官や消防士などの公安系公務員の採用に関し、課される体力試験のさまざまな種目を反復練習し、基礎体力の養成と、筋力の向上を図り、合格を目指す。

[履修に必要なこと]

運動しやすい服装

[成績評価方法]

各項目の測定結果を評価する。また全体的な総合評価によって行う。

[教科書]

特に使用しない

[参考書]

特に使用しない

口	項目	内容
第 1 回	はじめに	授業の進め方
第 2 回	各種目の理解	マシンの利用方法など
第 3 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 4 回	IJ	ll .
第 5 回	IJ	ll ll
第 6 回	IJ	II .
第 7 回	測定	各種試験項目の中間測定
第 8 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 9 回	11	"
第10回	IJ	II .
第11回	IJ	II .
第12回	IJ	II .
第13回	IJ	ll ll
第14回	IJ	ll
第15回	測定	各種試験項目の最終測定

*** 1) 🗆 5	体力試験演習Ⅱ	担当教師名	三谷直人
教科目名	Exercises in Physical Strength Test II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	期 必選・単	位数 選択・1 単位

主として警察官や消防士などの公安系公務員の採用に関し、課される体力試験のさまざまな種目を反復練習し、基礎体力の養成と、筋力の向上を図り、合格を目指す。

[履修に必要なこと]

運動しやすい服装

[成績評価方法]

各項目の測定結果を評価する。また全体的な総合評価によって行う。

[教科書]

特に使用しない

[参考書]

特に使用しない

口	項目	内容
第 1 回	はじめに	授業の進め方
第 2 回	各種目の理解	マシンの利用方法など
第 3 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 4 回	IJ	ll .
第 5 回	IJ	ll ll
第 6 回	IJ	II .
第 7 回	測定	各種試験項目の中間測定
第 8 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 9 回	11	"
第10回	IJ	II .
第11回	IJ	II .
第12回	IJ	II .
第13回	IJ	ll ll
第14回	IJ	ll
第15回	測定	各種試験項目の最終測定

*** 1)	体力試験演習Ⅲ	担当教師名		三谷直人
教科目名	Exercises in Physical Strength Test III			
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	前 必選・単	位数	選択・1 単位

主として警察官や消防士などの公安系公務員の採用に関し、課される体力試験のさまざまな種目を反復練習し、基礎体力の養成と、筋力の向上を図り、合格を目指す。

[履修に必要なこと]

運動しやすい服装

[成績評価方法]

各項目の測定結果を評価する。また全体的な総合評価によって行う。

[教科書]

特に使用しない

[参考書]

特に使用しない

口	項目	内容
第 1 回	はじめに	授業の進め方
第 2 回	各種目の理解	マシンの利用方法など
第 3 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 4 回	IJ	II .
第 5 回	JJ	ll .
第 6 回	"	ıı .
第 7 回	測定	各種試験項目の中間測定
第 8 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 9 回	IJ	II .
第10回	IJ	ll .
第11回	"	ıı .
第12回	IJ	II .
第13回	IJ	II .
第14回	IJ	II .
第15回	測定	各種試験項目の最終測定

*** 1) 0 5	公務員試験対策 I	担当教師名	坂井 済	
教科目名	Preparation for the Civil Examination I			
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	期 必選・単	位数 選択・2単位	

役所・役場、国家一般職、北海道一般行政職の合格に必要な教科・科目を補完し、試験本番での高得点を目指す。同じ職種を目指す学生の集団で競い合い、成長し合うことで、協調性を育むこともねらいとする。

[履修に必要なこと] 復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法] 期末試験により評価する。

[教科書] 適宜問題を配布する。

[参考書]

なし。

以木町四」	
口	内容
第 1 回	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	II .
第 3 回	II .
第 4 回	II .
第 5 回	II .
第 6 回	II .
第 7 回	II .
第 8 回	ll ll
第 9 回	II .
第10回	II .
第11回	II .
第12回	II .
第13回	II .
第14回	II .
第15回	期末試験

教科目名	公務員試験対策Ⅱ	担当教師名	坂井 済
	Preparation for the Civil Examination II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	期 必選・単	位数 選択・2 単位

役所・役場、国家一般職、北海道一般行政職の合格に必要な教科・科目を補完し、試験本番での高得点を目指す。同じ職種を目指す学生の集団で競い合い、成長し合うことで、協調性を育むこともねらいとする。

[履修に必要なこと] 復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法] 期末試験により評価する。

[教科書]

適宜問題を配布する。

[参考書]

なし。

「授業計画〕

口又未叮问」	
口	内容
第 1 回	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	H
第 3 回	H
第 4 回	II
第 5 回	II
第 6 回	JI .
第 7 回	II
第 8 回	II .
第 9 回	H
第10回	H
第11回	H
第12回	II .
第13回	II.
第14回	IJ
第15回	期末試験

#/. TV D #	公務員試験対策Ⅲ	担当教師名	坂井 済
教科目名	Preparation for the Civil Examination III		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	7期 必選・単	位数 選択・2単位

役所・役場、国家一般職、北海道一般行政職の合格に必要な教科・科目を補完し、試験本番での高得点を目指す。同じ職種を目指す学生の集団で競い合い、成長し合うことで、協調性を育むこともねらいとする。

[履修に必要なこと] 復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法] 期末試験により評価する。

[教科書]

適宜問題を配布する。

[参考書]

なし。

口	内容
第 1 回	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	II .
第 3 回	II .
第 4 回	II
第 5 回	II
第 6 回	II
第 7 回	II
第 8 回	II
第 9 回	II .
第10回	II
第11回	II
第12回	II
第13回	II
第14回	II .
第15回	期末試験

教科目名	公務員試験対策演習I	担当教師名	坂井 済
	Civil Examination Seminar I		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	期 必選・単	位数 選択・0.5 単位

役所・役場、国家一般職、北海道一般行政職の合格に必要な教科・科目を補完し、試験本番での高得点を目指す。同じ職種を目指す学生の集団で競い合い、成長し合うことで、協調性を育むこともねらいとする。公務員一般職は、特に正確性と対人折衝能力が求められるため、ゼミ形式の授業で互いに意見を出し合いながら問題演習をする。

[履修に必要なこと]

自分の意見を発表するだけでなく、他の人の意見をよく聞くこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜問題を配布する。

[参考書]

なし。

口	内容
第 1 回	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	II .
第 3 回	II
第 4 回	II .
第 5 回	II .
第 6 回	II
第 7 回	II .
第 8 回	II .
第 9 回	II .
第10回	II .
第11回	II
第12回	II
第13回	II .
第14回	II
第15回	期末試験

#/. 1\ D B	公務員試験対策演習Ⅱ	担当教師名	坂井 済
教科目名	Civil Examination Seminar II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	対 必選・単	位数 選択・0.5 単位

役所・役場、国家一般職、北海道一般行政職の合格に必要な教科・科目を補完し、試験本番での高得点を目指す。同じ職種を目指す学生の集団で競い合い、成長し合うことで、協調性を育むこともねらいとする。公務員一般職は、特に正確性と対人折衝能力が求められるため、ゼミ形式の授業で互いに意見を出し合いながら問題演習をする。

「履修に必要なこと]

自分の意見を発表するだけでなく、他の人の意見をよく聞くこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜問題を配布する。

[参考書]

なし。

口	内容
第 1 回	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	II .
第 3 回	II
第 4 回	II .
第 5 回	II .
第 6 回	II
第 7 回	II .
第 8 回	II .
第 9 回	II .
第10回	II .
第11回	II
第12回	II
第13回	II .
第14回	II
第15回	期末試験

#/. 1\ D B	公務員試験対策演習Ⅲ	担当教師名	坂井	済
教科目名	Civil Examination Seminar III			
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	7期 必選・単	位数 選択	・0.5 単位

役所・役場、国家一般職、北海道一般行政職の合格に必要な教科・科目を補完し、試験本番での高得点を目指す。同じ職種を目指す学生の集団で競い合い、成長し合うことで、協調性を育むこともねらいとする。公務員一般職は、特に正確性と対人折衝能力が求められるため、ゼミ形式の授業で互いに意見を出し合いながら問題演習をする。

「履修に必要なこと]

自分の意見を発表するだけでなく、他の人の意見をよく聞くこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜問題を配布する。

[参考書]

なし。

口	内容
第 1 回	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	II .
第 3 回	II .
第 4 回	II .
第 5 回	II
第 6 回	II .
第 7 回	II .
第 8 回	ll ll
第 9 回	II .
第10回	II .
第11回	II
第12回	II
第13回	II .
第14回	II
第15回	期末試験

#/. 1\ D B	自己表現 I	担当教師名	坂井 済
教科目名	Exercises in Self-Expression I		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	7期 必選・単	位数 必修・2単位

自己表現の方法や技術を学び、自分の個性を他者に上手く伝えられることを目標とする。 2次試験で多く行われる面接対策が主眼だが、国民・市民の皆様に誤解を与えず正しく情報を伝達するスキルを身につけ公務員として活躍することも視野に入れる。

[履修に必要なこと]

真摯に自己分析と業界研究を行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

特になし。

[参考書]

必要に応じ新聞記事などの資料を配付する。

「授業計画」

门又来时凹」		
口	項目	内容
第 1 回	自己PR	長所・短所を踏まえ、具体例を挙げる
第 2 回	<i>II</i>	
第 3 回	<i>II</i>	
第 4 回	11	
第 5 回	II .	
第 6 回	JJ	
第 7 回	JJ.	
第 8 回	志望動機	自己PRと関連させ、「自分」の話を書く
第 9 回	JJ.	
第10回	11	
第11回	JJ.	
第12回	II .	
第13回	11	
第14回	II .	
第15回	期末試験	

*** 1 1 2 2	自己表現Ⅱ 担当教師		名 坂井 済	
教科目名	Exercises in	Self-Expressi	on II	
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	前 必選・単	位数 選択・2単位	

自己表現の方法や技術を学び、自分の個性を他者に上手く伝えられることを目標とする。 2次試験で多く行われる面接対策が主眼だが、国民・市民の皆様に誤解を与えず正しく情報を伝達するスキルを身につけ公務員として活躍することも視野に入れる。

[履修に必要なこと]

真摯に自己分析と業界研究を行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜プリントを配付する。

[参考書]

なし。

「授業計画〕

以未可固」		
口	項目	内容
第 1 回	自己PR	長所・短所を踏まえ、具体例を挙げる
第 2 回	JJ	
第 3 回	JJ	
第 4 回	IJ	
第 5 回	JJ	
第 6 回	JJ	
第 7 回	IJ	
第 8 回	志望動機	自己PRと関連させ、「自分」の話を書く
第 9 回	JJ	
第10回	IJ	
第11回	IJ	
第12回	IJ	
第13回	JI .	
第14回	JJ	
第15回	期末試験	

*** 1) 0 5	自己表現演習 I	担当教師名	坂井 済
教科目名	Self-Expression Seminar I		r I
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	i期 必選・単	位数 選択・0.5 単位

自己表現の方法や技術を学び、自分の個性を他者に上手く伝えられることを目標とする。 2次試験で多く行われる面接対策が主眼だが、国民・市民の皆様に誤解を与えず正しく情報を伝達するスキルを身につけ公務員として活躍することも視野に入れる。ゼミ形式で互いに意見を述べ合い、建設的な意見交換を理解する。

「履修に必要なこと]

真摯に自己分析と業界研究を行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜プリントを配付する。

[参考書]

なし。

口	項目	内容
第 1 回	自己PR	長所・短所を踏まえ、具体例を挙げる
第 2 回	<i>II</i>	
第 3 回	JJ.	
第 4 回	JJ.	
第 5 回	11	
第 6 回	<i>II</i>	
第 7 回	JJ	
第 8 回	志望動機	自己PRと関連させ、「自分」の話を書く
第 9 回	JJ	
第10回	11	
第11回	JJ.	
第12回	JJ.	
第13回	11	
第14回	II .	
第15回	期末試験	

*** 1) 0 5	自己表現演習Ⅱ 担当教師名 坂井 済		坂井 済
教科目名	Self-Expression Seminar II		r II
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	期 必選・単	位数 選択・0.5 単位

自己表現の方法や技術を学び、自分の個性を他者に上手く伝えられることを目標とする。 2次試験で多く行われる面接対策が主眼だが、国民・市民の皆様に誤解を与えず正しく情報を伝達するスキルを身につけ公務員として活躍することも視野に入れる。ゼミ形式で互いに意見を述べ合い、建設的な意見交換を理解する。

「履修に必要なこと]

真摯に自己分析と業界研究を行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜プリントを配付する。

[参考書]

なし。

口	項目	内容
第 1 回	自己PR	長所・短所を踏まえ、具体例を挙げる
第 2 回	<i>II</i>	
第 3 回	<i>II</i>	
第 4 回	<i>II</i>	
第 5 回	11	
第 6 回	<i>II</i>	
第 7 回	11	
第 8 回	志望動機	自己PRと関連させ、「自分」の話を書く
第 9 回	JJ	
第10回	JJ.	
第11回	JJ.	
第12回	JJ.	
第13回	11	
第14回	II .	
第15回	期末試験	

## 1 D D	適性演習 I	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Excersises in Aptitude Test I		est I
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	方期 必選・単	位数 選択・1 単位

公務員適性試験の解法を習得する。この練習・実習を通して、適性解法の基本的技術・効率的処理技術を習得する。また、グラフ化から自分の努力結果・全体における自分の位置づけを理解し、そこから刺激を受けて、更なる確かな技術の定着をはかる。これにより、公務員試験の二大科目の一つである適性試験の分析と対策を継続的に行う。

「履修に必要なこと]

練習・実習を通して、適性解法の基本的技術・効率的処理技術を習得し、グラフ化から自分の努力結果・全体における自分の位置づけを理解し、そこから刺激を受けて、更なる確かな技術の定着をはかる。したがい、各自が、この練習・実習を通して、より積極的にそれらの技術を習得・蓄積することが必要になる。

[成績評価方法]

模擬試験の各結果を評価後、全体的な総合評価をする。

[教科書]

模擬試験による適性試験を使用。

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	適性試験	1回から30回の適性試験を行う。
第 2 回	<i>II</i>	II
第 3 回	JJ	II .
第 4 回	JJ	II .
第 5 回	JJ	II .
第 6 回	JJ	II .
第 7 回	JJ	II .
第 8 回	<i>II</i>	II .
第 9 回	JJ	II .
第10回	IJ.	II
第11回	IJ	II .
第12回	IJ	II .
第13回	IJ	IJ
第14回	II	II
第15回	II	II

*** 1) 🗆 5	適性演習Ⅱ 担当教師名 仙名伸行		仙名伸行
教科目名	Excersises in Aptitude Test II		st II
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	後期 必選・単	位数 選択・1 単位

公務員適性試験の解法を習得する。この練習・実習を通して、適性解法の基本的技術・効率的処理技術を習得する。また、グラフ化から自分の努力結果・全体における自分の位置づけを理解し、そこから刺激を受けて、更なる確かな技術の定着をはかる。これにより、公務員試験の二大科目の一つである適性試験の分析と対策を継続的に行う。

[履修に必要なこと]

練習・実習を通して、適性解法の基本的技術・効率的処理技術を習得し、グラフ化から自分の努力結果・全体における自分の位置づけを理解し、そこから刺激を受けて、更なる確かな技術の定着をはかる。したがい、各自が、この練習・実習を通して、より積極的にそれらの技術を習得・蓄積することが必要になる。

[成績評価方法]

模擬試験の各結果を評価後、全体的な総合評価をする。

[教科書]

特になし。模擬試験の適性試験を使用。

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	適性試験	31回から60回の適性試験を行う。
第 2 回	II	II.
第 3 回	JJ	II .
第 4 回	JJ	II .
第 5 回	II	II.
第 6 回	JJ	II .
第 7 回	JJ	II .
第 8 回	II .	II .
第 9 回	IJ	JI.
第10回	IJ	JI.
第11回	IJ	II.
第12回	IJ	II
第13回	IJ	IJ
第14回	IJ	IJ
第15回	II	II.

*** 1 0 5	適性演習Ⅲ	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Excersises in Aptitude Test III		st III
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	前期 必選・単	位数 選択・1 単位

公務員適性試験の解法を習得する。この練習・実習を通して、適性解法の基本的技術・効率的処理技術を習得する。また、グラフ化から自分の努力結果・全体における自分の位置づけを理解し、そこから刺激を受けて、更なる確かな技術の定着をはかる。これにより、公務員試験の二大科目の一つである適性試験の分析と対策を継続的に行う。

「履修に必要なこと]

練習・実習を通して、適性解法の基本的技術・効率的処理技術を習得し、グラフ化から自分の努力結果・全体における自分の位置づけを理解し、そこから刺激を受けて、更なる確かな技術の定着をはかる。したがい、各自が、この練習・実習を通して、より積極的にそれらの技術を習得・蓄積することが必要になる。

[成績評価方法]

模擬試験の各結果を評価後、全体的な総合評価をする。

[教科書]

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	適性試験	適性試験を実施する。
第 2 回	JJ	II .
第 3 回	IJ	IJ
第 4 回	IJ	II .
第 5 回	JJ	II .
第 6 回	IJ	IJ
第 7 回	IJ	II .
第 8 回	II	II .
第 9 回	IJ	IJ
第10回	IJ	II .
第11回	IJ	II .
第12回	IJ	II .
第13回	II	IJ
第14回	IJ	IJ
第15回	II	II

*** 1) 🗆 5	模擬試験A	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Practices on the Examination A		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	が期 必選・単	位数 選択・1 単位

1次試験を突破させるために、公務員試験を想定した模擬試験を通じて、学力の定着度や自分の弱点を発見させる。また、復習を促し弱点克服をさせることで、進路実現のために活用させる。

[履修に必要なこと]

模擬試験を受けっぱなしにせず、復習を翌週に残さず間違った問題を復習し克服することが重要である。

[成績評価方法]

模擬試験の得点において評価する。

[教科書]

「公務員模擬試験(基礎能力試験)」(TAC)

[参考書]

なし

口	項目	内容
第 1 回	総合模擬試験	第 10 回公務員模擬試験
第 2 回	IJ.	第 11 回公務員模擬試験
第 3 回	IJ	第 12 回公務員模擬試験
第 4 回	IJ	第 13 回公務員模擬試験
第 5 回	IJ	第 14 回公務員模擬試験
第 6 回	IJ	第 15 回公務員模擬試験
第 7 回	IJ	第 16 回公務員模擬試験
第 8 回	IJ	第 17 回公務員模擬試験
第 9 回	IJ	第 18 回公務員模擬試験
第10回	IJ	第 19 回公務員模擬試験
第11回	IJ	第 20 回公務員模擬試験
第12回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第13回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第14回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第15回	II	公務員模擬試験過去問題

₩ 1 □ b	模擬試験 B 担当教師名 仙名伸行		
教科目名	Practices on the Examination B		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	方期 必選・単	位数 選択・1 単位

1次試験を突破させるために、公務員試験を想定した模擬試験を通じて、学力の定着度や自分の弱点を発見させる。また、復習を促し弱点克服をさせることで、進路実現のために活用させる。

[履修に必要なこと]

模擬試験を受けっぱなしにせず、復習を翌週に残さず間違った問題を復習し克服することが重要である。

[成績評価方法]

模擬試験の得点において評価する。

[教科書]

「公務員模擬試験(基礎能力試験)」(TAC)

[参考書]

なし

口	項目	内容
第 1 回	総合模擬試験	第 10 回公務員模擬試験
第 2 回	IJ	第 11 回公務員模擬試験
第 3 回	IJ	第 12 回公務員模擬試験
第 4 回	IJ	第 13 回公務員模擬試験
第 5 回	IJ	第 14 回公務員模擬試験
第 6 回	IJ	第 15 回公務員模擬試験
第 7 回	IJ	第 16 回公務員模擬試験
第 8 回	IJ	第 17 回公務員模擬試験
第 9 回	IJ	第 18 回公務員模擬試験
第10回	IJ	第 19 回公務員模擬試験
第11回	IJ	第 20 回公務員模擬試験
第12回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第13回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第14回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第15回	II	公務員模擬試験過去問題

	模擬試験ゼミA	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Practices on the Examination Seminar A		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	7期 必選・単	位数 選択・1 単位

模擬試験解答後に、自己採点をし間違った問題の見直しをおこなう。弱点の克服をする ために、学生間で教えあい議論することで、問題に対する論理的思考力を育成させる。

[履修に必要なこと]

間違った問題を学生間で議論し、教え合うことで、弱点や知らなかった解法を理解し、使いこなせる知識にすること。

[成績評価方法]

レポート提出において評価する。

[教科書]

「公務員模擬試験(基礎能力試験)」(TAC)

[参考書]

なし

[授耒訂画]		
口	項目	内容
第 1 回	総合模擬試験	第 10 回公務員模擬試験
第 2 回	II.	第 11 回公務員模擬試験
第 3 回	IJ	第 12 回公務員模擬試験
第 4 回	IJ	第 13 回公務員模擬試験
第 5 回	IJ	第 14 回公務員模擬試験
第 6 回	IJ	第 15 回公務員模擬試験
第 7 回	IJ	第 16 回公務員模擬試験
第 8 回	II	第 17 回公務員模擬試験
第 9 回	IJ	第 18 回公務員模擬試験
第10回	IJ	第 19 回公務員模擬試験
第11回	IJ	第20回公務員模擬試験
第12回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第13回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第14回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第15回	IJ	公務員模擬試験過去問題

	模擬試験ゼミB	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Practices on the Examination Seminar B		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	7期 必選・単	位数 選択・1 単位

模擬試験解答後に、自己採点をし間違った問題の見直しをおこなう。弱点の克服をする ために、学生間で教えあい議論することで、問題に対する論理的思考力を育成させる。

[履修に必要なこと]

間違った問題を学生間で議論し、教え合うことで、弱点や知らなかった解法を理解し、使いこなせる知識にすること。

[成績評価方法]

レポート提出において評価する。

[教科書]

「公務員模擬試験(基礎能力試験)」(TAC)

[参考書]

なし

[授耒訂画]		
口	項目	内容
第 1 回	総合模擬試験	第 10 回公務員模擬試験
第 2 回	II.	第 11 回公務員模擬試験
第 3 回	IJ	第 12 回公務員模擬試験
第 4 回	IJ	第 13 回公務員模擬試験
第 5 回	IJ	第 14 回公務員模擬試験
第 6 回	IJ	第 15 回公務員模擬試験
第 7 回	IJ	第 16 回公務員模擬試験
第 8 回	II	第 17 回公務員模擬試験
第 9 回	IJ	第 18 回公務員模擬試験
第10回	IJ	第 19 回公務員模擬試験
第11回	IJ	第20回公務員模擬試験
第12回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第13回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第14回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第15回	IJ	公務員模擬試験過去問題

料 利 日 5	総合模試演習 I	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Practices on the Examination I		ion I
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	ブ期 必選・単	位数 必修・0.5 単位

1次試験を突破させるために、公務員試験を想定した模擬試験を通じて、学力の定着度や自分の弱点を発見させる。また、全国順位や志望先の合格可能性などを参考にさせ、進路実現のために活用させる。

「履修に必要なこと]

模擬試験を受けっぱなしにせず、復習を翌週に残さず間違った問題を復習し克服することが重要である。

[成績評価方法]

模擬試験の得点において評価する。

[教科書]

「公務員模擬試験(高卒者)」(実務教育出版) 「公務員模擬試験(基礎能力試験)」(TAC)

[参考書]

なし

口	項目	内容
第 1 回	総合模擬試験	第1回公務員模擬試験(全国模試)
第 2 回	JJ	第2回公務員模擬試験(全国模試)
第 3 回	IJ	第3回公務員模擬試験(全国模試)
第 4 回	IJ	第4回公務員模擬試験(全国模試)
第 5 回	JJ	第5回公務員模擬試験(全国模試)
第 6 回	IJ	第6回公務員模擬試験(全国模試)
第 7 回	IJ	第1回公務員模擬試験
第 8 回	<i>II</i>	第2回公務員模擬試験
第 9 回	JJ	第3回公務員模擬試験
第10回	IJ	第4回公務員模擬試験
第11回	IJ	第5回公務員模擬試験
第12回	IJ	第6回公務員模擬試験
第13回	II	第7回公務員模擬試験
第14回	<i>II</i>	第8回公務員模擬試験
第15回	II	第9回公務員模擬試験

	総合模試演習Ⅱ	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Practices on	the Examinat	ion II
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	期 必選・単	位数 選択・0.5 単位

1次試験を突破させるために、公務員試験を想定した模擬試験を通じて、学力の定着度や自分の弱点を発見させる。また、復習を促し弱点克服をさせることで、進路実現のために活用させる。

[履修に必要なこと]

模擬試験を受けっぱなしにせず、復習を翌週に残さず間違った問題を復習し克服することが重要である。

[成績評価方法]

模擬試験の得点において評価する。

[教科書]

「公務員模擬試験(基礎能力試験)」(TAC)

[参考書]

なし

口	項目	内容
第 1 回	総合模擬試験	公務員模擬試験過去問題
第 2 回	JJ	公務員模擬試験過去問題
第 3 回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第 4 回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第 5 回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第 6 回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第 7 回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第 8 回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第 9 回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第10回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第11回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第12回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第13回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第14回	IJ	公務員模擬試験過去問題
第15回	11	公務員模擬試験過去問題

*** 1) 🗆 5	総合模試演習Ⅲ	担当教師名	仙名伸行
教科目名	Practices on	the Examinati	on III
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	i期 必選・単	位数 選択・0.5 単位

1次試験を突破させるために、公務員試験を想定した模擬試験を通じて、学力の定着度や自分の弱点を発見させる。また、全国順位や志望先の合格可能性などを参考にさせ、進路実現のために活用させる。

[履修に必要なこと]

模擬試験を受けっぱなしにせず、復習を翌週に残さず間違った問題を復習し克服することが重要である。

[成績評価方法]

模擬試験の得点において評価する。

[教科書]

「公務員模擬試験(高卒者)」(実務教育出版) 「公務員模擬試験(基礎能力試験)」(TAC)

[参考書]

なし

[汉未可四]		
口	項目	内容
第 1 回	総合模擬試験	第1回公務員模擬試験(全国模試)
第 2 回	IJ	第2回公務員模擬試験(全国模試)
第 3 回	JJ	第3回公務員模擬試験(全国模試)
第 4 回	IJ	第4回公務員模擬試験(全国模試)
第 5 回	IJ	第5回公務員模擬試験(全国模試)
第 6 回	JJ	第6回公務員模擬試験(全国模試)
第 7 回	JJ	第1回公務員模擬試験
第 8 回	JJ	第2回公務員模擬試験
第 9 回	JJ	第3回公務員模擬試験
第10回	IJ	第4回公務員模擬試験
第11回	IJ	第5回公務員模擬試験
第12回	JJ	第6回公務員模擬試験
第13回	IJ	第7回公務員模擬試験
第14回	IJ	第8回公務員模擬試験
第15回	11	第9回公務員模擬試験

	面接対策A	担当教師名	坂井 済
教科目名	Preparation for the Interview A		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	i期 必選・単	位数 選択・1 単位

難関の面接試験に合格するために、基本動作の習得から、心に訴える受け答えまでを徹底的に訓練する。他の教科や課外活動の集大成であり、また、今までの人生を振り返り、新たな世界へ踏み出すための重要な意味合いを持つ。単に公務員試験合格のためと捉えず、自分の人生の節目に何を考えどう行動すべきかを改めて考える機会にして欲しい。

「履修に必要なこと]

真摯に自己分析・自己反省を行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

なし。

[参考書]

なし。

口	項目	内容
第 1 回	面接対策レクチャー	基本動作の確認
第 2 回	<i>II</i>	
第 3 回	<i>II</i>	
第 4 回	JJ.	
第 5 回	II .	
第 6 回	面接練習	受け答えの練習
第 7 回	JJ	
第 8 回	II .	
第 9 回	<i>II</i>	
第10回	11	
第11回	JJ.	
第12回	JJ.	
第13回	11	
第14回	II .	
第15回	期末試験	

*** *** ***	面接対策 B	担当教師名	坂井 済
教科目名	Preparation for the Interview B		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	ブ期 必選・単	位数 選択・1 単位

難関の面接試験に合格するために、基本動作の習得から、心に訴える受け答えまでを徹底的に訓練する。他の教科や課外活動の集大成であり、また、今までの人生を振り返り、新たな世界へ踏み出すための重要な意味合いを持つ。単に公務員試験合格のためと捉えず、自分の人生の節目に何を考えどう行動すべきかを改めて考える機会にして欲しい。

「履修に必要なこと]

真摯に自己分析・自己反省を行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

なし。

[参考書]

なし。

口	項目	内容
第 1 回	面接対策レクチャー	基本動作の確認
第 2 回	<i>II</i>	
第 3 回	<i>II</i>	
第 4 回	11	
第 5 回	II .	
第 6 回	面接練習	受け答えの練習
第 7 回	JJ	
第 8 回	II .	
第 9 回	<i>II</i>	
第10回	11	
第11回	JJ.	
第12回	JJ.	
第13回	11	
第14回	II .	
第15回	期末試験	

## 1V E 5	面接対策ゼミA	担当教師名	坂井 済
教科目名	Interview Seminar A		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	期 必選・単位	位数 選択・1 単位

難関の面接試験に合格するために、基本動作の習得から、心に訴える受け答えまでを徹底的に訓練する。他の教科や課外活動の集大成であり、また、今までの人生を振り返り、新たな世界へ踏み出すための重要な意味合いを持つ。単に公務員試験合格のためと捉えず、自分の人生の節目に何を考えどう行動すべきかを改めて考える機会にして欲しい。グループで課題点や良い点を述べ合い、互いに成長していくことを目標にする。

「履修に必要なこと]

他の人の意見を聞き入れ、改善すること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

なし。

「参考書]

なし。

以未可固」		
口	項目	内容
第 1 回	基本動作の練習	
第 2 回	JJ	
第 3 回	JJ	
第 4 回	JJ	
第 5 回	JJ	
第 6 回	受け答えの練習	
第 7 回	JJ	
第 8 回	JJ	
第 9 回	JJ	
第10回	JJ	
第11回	IJ	
第12回	JJ	
第13回	JJ	
第14回	JJ	
第15回	期末試験	

	面接対策ゼミB	担当教師名	坂井 済
教科目名	Interview Seminar B		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・前	i期 必選・単	位数 選択・1 単位

難関の面接試験に合格するために、基本動作の習得から、心に訴える受け答えまでを徹底的に訓練する。他の教科や課外活動の集大成であり、また、今までの人生を振り返り、新たな世界へ踏み出すための重要な意味合いを持つ。単に公務員試験合格のためと捉えず、自分の人生の節目に何を考えどう行動すべきかを改めて考える機会にして欲しい。グループで課題点や良い点を述べ合い、互いに成長していくことを目標にする。

「履修に必要なこと]

他の人の意見を聞き入れ、改善すること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

なし。

「参考書]

なし。

以未可固」		
口	項目	内容
第 1 回	面接対策レクチャー	基本動作の確認
第 2 回	JJ	
第 3 回	<i>II</i>	
第 4 回	JJ.	
第 5 回	JJ	
第 6 回	面接練習	受け答えの練習
第 7 回	JJ.	
第 8 回	11	
第 9 回	<i>II</i>	
第10回	JJ.	
第11回	JJ	
第12回	JJ.	
第13回	II .	
第14回	II .	
第15回	期末試験	

#/. 10 D D	文書業務	担当教師名	小川昌宏
教科目名	Docum	ent Business	
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	期 必選・単	位数 必修・1 単位

様々な文書の書き方を学び課題達成することを通して、公務員に必要とされる事務処理 能力のうち特に正確さや完遂力を養うことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出、レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

口	項目	内容	
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明	
第 2 回		基本様式	
第 3 回		敬称のつけ方	
第 4 回		頭語と結語	
第 5 回	びごうっ士士	時候の挨拶	
第 6 回	・ ビジネス文書 - - -	あいさつ	
第 7 回		末文	
第 8 回		手紙独特の用語	
第 9 回		宛名の書き方	
第10回		お礼状の基本構成	
第11回	お礼状	企業訪問の礼状	
第12回		内定通知に対する礼状	
第13回	自己PR文	自己分析	
第14回		800文字	
第15回	レポート提出	レポート提出	

*** 1 1 2 5	パソコン演習 I	担当教師名	小川昌宏
教科目名	Personal Computer Practice I		ice I
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	期 必選・単	位数 必修・1 単位

公務員としての事務処理における正確さ・責任感・完遂力を身に付ける為に、パソコンの基本操作から、仕事で必須の技術となる表計算までについて、その概要を理解し与えられた基本的な課題を作成できるようにする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出・期末試験などを総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	0S の基本操作1	マウスの操作 キーボードの操作
第 2 回	0S の基本操作2	コントロールパネルの操作
第 3 回	0Sの基本操作3	ホルダーの作成 ファイルの複写・移動
第 4 回	プレゼンテーションソフト	文字入力 背景画像設定 スライド作成
第 5 回	の基本操作	文字装飾 画像貼付け アニメーション効果
第 6 回	プレゼンテーションソフト	企画 準備 構成の基本と要点
第 7 回	での作品作成	効果を出すための要素 発表者の注意
第 8 回	総合課題	レポートの作成と提出
第 9 回	表計算ソフトの基本操作	表計算ソフトの基本的な考え方
第10回	表計算ソフトの計算	計算式の書き方 計算式の複写と移動
第11回	表計算ソフトの書式と罫線	表を見易くするためのテクニック
第12回	表計算ソフトの関数	Sum Min If Vlookup Count などの関数
第13回	表計算ソフトのグラフ	表現技法
第14回	表計算ソフトの検索機能	データベースとしての操作
第15回	総合課題	レポートの作成と提出

## 1V D D	パソコン演習Ⅱ	担当教師名	小川昌宏
教科目名	Personal Computer Practice II		ce II
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・後	期 必選・単	位数 必修・1 単位

公務員としての事務処理における正確さ・責任感・完遂力を伸ばす為に、1年次のパソコン演習 I をもとに、より進んだ使い方を習得する。問題に合致した機能を利用し完成できるようにするとともに、データ処理の大まかな流れを把握できるようにする。

[履修に必要なこと]

表計算ソフトについて基本的な操作ができること。

[成績評価方法]

課題提出・期末試験などを総合的に判断し評価する。

[教科書]

プリントを適宜配布

[参考書]

	_	
口	項目	内容
第 1 回	データベースの基本	データベースの基本的な考え方
第 2 回	データベースの基本操作	データベースソフトの基本的な操作
第 3 回	テーブルの作成方法	リレーショナルを考慮して作成
第 4 回	テーブルの操作方法	データベースとしての基本的な操作
第 5 回	クエリーの作成方法1	選択・演算クエリーの作成
第 6 回	クエリーの作成方法2	パラメータ・アクションクエリーの作成
第 7 回	フォームの作成方法	入力フォーム作成し整える
第 8 回	総合演習1	レポートの作成と提出
第 9 回	データベースの基本設計	基本的な考え方と方針の作成
第10回	テーブルの作成	リレーショナルを考慮して作成
第11回	フォームの作成	サブフォームの利用
第12回	クエリーの作成	選択・演算クエリーの作成
第13回	レポートの作成	パラメータ・アクションクエリーの作成
第14回	マクロの利用	作業のマクロ化
第15回	総合課題2	レポートの作成と提出

## 1V D D	MOS 演習	担当教師名	冨永史人
教科目名	Preparation for Microsoft C		ecialist
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・後期	必選・単位数	選択・1 単位

Microsoft Office Specialist の Word/Excel 資格取得のための演習です。この授業では公務員事務職に就くにあたり正確さ・責任感・完遂力・忍耐力を身につけることを目標にする。

[履修に必要なこと]

教科書に従い、Word と Excel について、様々なテクニックをきちんと正確に習得していくこと。総合問題でポイントを確認し、模擬試験で合格レベルまで繰り返し練習する。

[成績評価方法]

模擬試験の結果により評価する。

[教科書]

よくわかるマスター Microsoft Office Specialist 対策テキスト&問題集 Word 2016/Excel 2016 FOM 出版

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	インストール・授業の進め方
第 2 回	第1章	文章作成と管理/ワークシートの作成
第 3 回	第2章	文字・段落・セクション/データの管理
第 4 回	第3章	表やリストの作成/テーブルの作成
第 5 回	第4章	参考資料の作成と管理/演算の実行
第 6 回	第5章	グラフィック要素の挿入/グラフの作成
第 7 回	総復習	模擬試験にむけての準備
第 8 回	総復習	模擬試験にむけての準備
第 9 回	総復習	弱点強化
第10回	模擬試験	第1回模擬試験
第11回	模擬試験	第2回模擬試験
第12回	模擬試験	第3回模擬試験
第13回	模擬試験	第4回模擬試験
第14回	模擬試験	第5回模擬試験
第15回	模擬試験	総復習

*** 1 1 2 5	日商 PC 演習 担当教師名		坂井 済
教科目名	名 Preparation for JCCI PC Proficience		Examination
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・後	:期 必選・単	位数 選択・1 単位

日本商工会議所主催の日商 PC 検定(文書作成)3級に合格できる能力を身につける。ビジネスにおける日本語の知識を習得し、主に Word での文書作成能力を磨き、社会人の基礎的能力を涵養するとともに、事務処理における正確性を育む。

[履修に必要なこと]

毎回の授業に教科書を持参すること。

[成績評価方法]

模擬試験の結果、本番試験により評価する。

[教科書]

日商 PC 検定試験 文書作成 FOM 出版

[参考書]

なし

L授業計画 ₋		
口	項目	内容
第 1 回	コンピュータの基礎/基本操作	知識編:用語、コンピュータの基礎
		実技編:基本操作
第 2 回	コンピュータの基礎/箇条書き	実技編:箇条書きの操作、応用力を付けるため の練習問題
## 0 I	ワープロソフトと表計算ソフト/表の	知識編:用語、ワープロと表計算
第 3 回	作成と編集	実技編:セルの大きさと追加削除、罫線の引き方
第 4 回	ワープロソフトと表計算ソフト/表の	実技編:列、行の入れ替え、表の分割・結合
W + E	作成と編集	
第5回	ネットワーク関連/図形の挿入	知識編:用語、ネットワーク関連について
W1 0 E		実技編:図形の拡大縮小、配置の調整
第 6 回	ネットワーク関連/その他の機能	実技編:挨拶文の挿入その他の機能
第 7 回	IT とビジネス関連	知識編:IT ビジネス関連の用語
第 (凹		実技編:練習問題に取り組み、技術を習得する
第 8 回	IT とビジネス関連	実技編:練習問題に取り組み、技術を習得する
第 9 回	ビジネス文書作成の知識	知識編:ビジネス文書としての体裁
第10回	日本語、文法の知識	知識編: ビジネス文書の作成に必要な文法事項
第11回	模擬試験 1	模擬試験の繰り返し学習、点数の取り方を学ぶ
第12回	模擬試験 2	模擬試験の繰り返し学習、点数の取り方を学ぶ
第13回	模擬試験3	模擬試験の繰り返し学習、点数の取り方を学ぶ
第14回	模擬試験 4	模擬試験の繰り返し学習、点数の取り方を学ぶ
第15回	模擬試験 5	模擬試験の繰り返し学習、点数の取り方を学ぶ

#/L 1\\ \D \ \D	まちづくり計画	担当教師名	小川昌宏
教科目名	City	Planning	
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・前	期 必選・単	位数 必修・2単位

前半は人づくりに重点を置き、後半は本学が設置されている登別市の諸問題をテーマに 資料分析し最終的に実現の可能性の高い政策提言書としてまとめることで、まちづくりへ の主体性を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出、レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回		何のために学ぶのか
第 3 回		「感謝」ワークショップ
第 4 回	ヒューマンスキル	道徳について
第 5 回		昔ばなしから学ぶ
第 6 回		ナショナリズムとグローバリズム
第 7 回		全国大学政策フォーラムについて
第 8 回		「テーマ」の確認
第 9 回		情報収集(持ち札の整理)
第10回	政策提言への道	仮説を立てる(やれることと効果の整理)
第11回	以水泥台、1070	障壁 (実施するうえでの問題点の整理)
第12回		解決策 (障壁を取り除く方策の整理)
第13回		プレゼンテーション資料作成
第14回		発表会
第15回	レポート提出	レポート提出

数和口口力	行政研究 I	担当教師名	冨永史人・仙名伸行
教科目名	Administrative Research I		h I
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	後期 必選・単	位数 必修・4単位

行政や市民団体など、それぞれの活動や関わり合いを分析し、市民に及ぼす影響を研究することで、「人助け」や「まちづくり」というものを各々が落とし込み、社会で生活する一員としての責任感を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出、レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

[]又耒时四]		
口	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回		
第 3 回	行政研究課題①	各々の出身地をテーマにそこが抱える問題や
第 4 回	「郷土研究」	地域で行われている活動などを分析研究する
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回	行政研究課題②	北海道が抱える問題や行われている施策など
第 8 回	「北海道研究」	を分析研究する
第 9 回		
第10回		
第11回	<i>与元</i> 47.7亿章用 图 ○	1年間在校生として住み暮らした視点で
第12回	行政研究課題③ 「登別市研究 I 」	登別市の抱える問題や行われている施策・活動
第13回	'豆'か川'柳'九 1]	などを研究する
第14回		
第15回	レポート提出	レポート提出

** 10 0 5	行政研究Ⅱ	担当教師名	冨永史人・仙名伸行
教科目名	Administrative Research II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・後	送期 必選・単	位数 必修・4単位

行政や市民団体など、それぞれの活動や関わり合いを分析し、市民に及ぼす影響を研究することで、「人助け」や「まちづくり」というものを各々が落とし込み、今後それらを担っていく社会の一員としての自覚と責任感を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出、レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回		
第 3 回	行政研究課題①	他府県をテーマにそこが抱える問題や
第 4 回	「他府県研究」	地域で行われている活動などを分析研究する
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回	行政研究課題②	日本が抱える問題や行われている施策などを
第 8 回	「日本研究」	分析研究する
第 9 回		
第10回		
第11回	存成如如明 的	2年間在校生として住み暮らした視点で
第12回	行政研究課題③ 「登別市研究Ⅱ」	登別市の抱える問題や行われている施策・活動
第13回	[□ 「金加川州九Ⅱ]	などを研究する
第14回		
第15回	レポート提出	レポート提出

教科目名	行政研究ゼミ I 担当教師名 冨永史人・仙名伸行		
	Administrative Research Seminar I		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	後期 必選・単	位数 選択・1 単位

行政研究 I で学んだ知識を基に、行政や市民団体など、それぞれの活動や関わり合いを分析し、市民に及ぼす影響をグループ単位で研究することで、「人助け」や「まちづくり」というものを各々が落とし込み、社会で生活する一員としての責任感を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出、レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回		
第 3 回	行政研究課題①	各々の出身地をテーマにそこが抱える問題や
第 4 回	「郷土研究」	地域で行われている活動などを分析研究する
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回	行政研究課題②	北海道が抱える問題や行われている施策など
第 8 回	「北海道研究」	を分析研究する
第 9 回		
第10回		
第11回	行政证 犯細期①	1年間在校生として住み暮らした視点で
第12回	行政研究課題③ 「登別市研究 I 」	登別市の抱える問題や行われている施策・活動
第13回		などを研究する
第14回		
第15回	レポート提出	レポート提出

教科目名	行政研究ゼミⅡ	担当教師名	冨永史人・仙名伸行
	Administrative Research Seminar II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・後	後期 必選・単	位数 選択・1 単位

行政研究Ⅱで学んだ知識を基に、行政や市民団体など、それぞれの活動や関わり合いを分析し、市民に及ぼす影響をグループ単位で研究することで、「人助け」や「まちづくり」というものを各々が落とし込み、今後それらを担っていく社会の一員としての自覚と責任感を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出、レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

门又来时凹」		
口	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回		
第 3 回	行政研究課題①	他府県をテーマにそこが抱える問題や
第 4 回	「他府県研究」	地域で行われている活動などを分析研究する
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回	行政研究課題②	日本が抱える問題や行われている施策などを
第 8 回	「日本研究」	分析研究する
第 9 回		
第10回		
第11回	<i>行动和</i> 相	2年間在校生として住み暮らした視点で
第12回	行政研究課題③ 「登別市研究Ⅱ」	登別市の抱える問題や行われている施策・活動
第13回		などを研究する
第14回		
第15回	レポート提出	レポート提出

#/. 1\ D D	総合演習 I	担当教師名	冨永史人・仙名伸行
教科目名	General Seminar I		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	期 必選・単	位数 必修・3 単位

公務員としてしっかりと活躍していける人材育成の為に、ある者はグループ学習で公務 員試験を自作資料化し、ある者は公務員試験突破に向けて問題の演習を通して、それぞれ 事務処理能力、仕事の正確さ、法律力、忍耐力、責任感、完遂力、コミュニケーション能 力を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出、レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

门又来时凹」		
口	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回	※ 4 冷羽①	
第 3 回	総合演習① 教科書・問題集の	過去の演習問題を中心に演習
第 4 回	教科書・同趣来の 振り返り	グループ学習及び資料化
第 5 回	1成り返り	
第 6 回	※ 人 > 図	
第 7 回	総合演習② 国家公務員試験の 演習及び分析	国家公務員試験の過去問題を中心に演習 グループ学習及び資料化
第 8 回		
第 9 回	(英百次 O 77 77)	
第10回		
第11回	総合演習③	1年の構製には出版を決定羽
第12回	様々な演習を基に	過去の模試・過去問・実問等を演習 グループ学習にて問題自作及び資料化
第13回	自作問題を作成	
第14回		
第15回	レポート提出	レポート提出

#/. 1\ D D	総合演習Ⅱ	担当教師名	冨永史人・仙名伸行
教科目名	General Seminar II		
学科・学年・期	公務員2年制学科・2学年・後	期 必選・単	位数 選択・3 単位

公務員としてしっかりと活躍していける人材育成の為に、グループ学習で公務員試験を 深掘りし自作資料化することを通して、事務処理能力、仕事の正確さ、法律力、忍耐力、 責任感、完遂力、コミュニケーション能力を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出、レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

「授業計画〕

口	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回	※A冷羽 ①	
第 3 回	総合演習① 教科書・問題集の	自作問題作成に向けた過去の演習問題を
第 4 回	深掘りと整理	グループ学習及び資料化
第 5 回	米加りて歪圧	
第 6 回	※ 人 > 図	
第 7 回	総合演習② 国家公務員試験の	自作問題作成に向けた国家公務員試験の
第 8 回	国家公務員武殿の 深掘りと整理	過去問題をグループ学習及び資料化
第 9 回	休畑りて登埋	
第10回		
第11回	総合演習③	 過去の模試・過去問・実問等を基に
第12回	様々な演習を基に	過去の模式・過去向・美向寺を差に グループ学習にて自作問題作成及び資料化
第13回	自作問題を作成	グループ子自にく日下问题作成及い資料化
第14回		
第15回	レポート提出	レポート提出

*** 1 0 5	インターンシップ	担当教師名	冨永	史人・仙名伸行
教科目名	In	ternship		
学科・学年・期	公務員2年制学科・1学年・後	期 必選・単	位数	選択・0.5 単位

実際の職場での業務を行うことで、日頃学んで来た内容をどのように生かして行くのかを考えるきっかけにし、具体的なイメージを持って、公務員として活躍するために何が必要かを自ら考え自己研鑽することを目的とする。

[履修に必要なこと]

社会人としてのマナーを身につけていること。

[成績評価方法]

受け入れ先の評価、レポート等で評価する。

[教科書]

[参考書]

口	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	スケジュールの確認等
第 2 回	概要説明	実習先の概要について調査します
第 3 回	心構え	実習先での行動の注意点について学習します
第 4 回	インターンシップ	職場で実習をします
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回	報告会準備	報告の準備を行います
第15回	報告会	報告会を行います